

2020年5月14日

各位

株式会社日本トリム

代表者名 代表取締役 森澤紳勝
(コード番号:6788 東証第一部)

問合せ先 専務取締役 管理本部長 田原周夫
(TEL: 06-6456-4600)

持分法による投資損失の計上（連結）並びに貸倒引当金繰入額の計上（個別）及び、 通期連結業績予想と実績値の差異並びに通期個別業績と前期実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期決算において、下記のとおり貸倒引当金を計上いたしましたのでお知らせいたします。これに伴いまして、2019年4月25日に公表いたしました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、通期の個別業績につきましても前期実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 持分法による投資損失の計上（連結）並びに貸倒引当金繰入額の計上（個別）について

中国病院運営事業におきまして、北京漢琨（はんくん）医院では、現在、遅れている公的保険の適用承認を待ちながら本格稼働に向けて取り組んでいるところですが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により投資回収に要する期間が延びる可能性があるかと判断いたしました。つきましては、当社から漢琨（はんくん）国際控股有限公司^{※1}への貸付金1,100百万円全額につきまして、保守的に引当金を計上いたしました。当該引当金計上につきましては、個別財務諸表においては貸倒引当金繰入額（特別損失）に、連結財務諸表においては持分法による投資損失（営業外費用）に計上しております。

今般の医療ニーズの高まりから、当事業の将来性はさらに大きくなっております。本格稼働に時間を要しておりますが、堅実に進めてまいります。

※1 香港の特別目的会社。当社グループの出資比率40%。持分法適用会社。

2. 通期連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2020年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,360	百万円 2,630	百万円 2,530	百万円 1,480	円 銭 185.89
実績値 (B) (2020年3月期)	16,116	2,303	1,007	218	27.67
増減額 (B-A)	△243	△326	△1,522	△1,261	—
増減率 (%)	△1.5	△12.4	△60.2	△85.2	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	15,179	2,250	2,121	1,250	157.05

(2) 差異の理由

経常利益につきましては、「1. 持分法による投資損失の計上（連結）並びに貸倒引当金繰入額の計上（個別）について」に記載のとおり、漢琨（はんくん）国際控股有限公司への貸付金1,100百万円全額について引当金を計上し、当該損失を連結財務諸表上、持分法による投資損失（営業外費用）に計上したことにより差異が生じました。これに伴い、親会社に帰属する当期純利益にも差異が生じました。

3. 通期個別業績と前期実績値との差異について

(1) 2020年3月期通期個別業績値（2019年4月1日～2020年3月31日）と前期実績値（2018年4月1日～2019年3月31日）との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A） （2019年3月期）	百万円 12,885	百万円 1,435	百万円 1,527	百万円 1,043	円 銭 131.09
実績値（B） （2020年3月期）	12,882	1,347	2,706	1,105	139.99
増減額（B－A）	△3	△88	1,179	61	－
増減率（％）	△0.0	△6.1	77.2	5.9	－

(2) 差異の理由

経常利益につきましては、連結子会社が剰余金の配当を実施したことにより、前期実績値との差異が生じました。当期純利益につきましては、前述の受取配当金の計上により増加した一方、「1. 持分法による投資損失の計上（連結）並びに貸倒引当金繰入額の計上（個別）について」に記載のとおり、漢琨（はんくん）国際控股有限公司への貸付金1,100百万円全額について引当金を計上し、当該損失を個別財務諸表上、貸倒引当金繰入額（特別損失）に計上したことにより減少したため、前期実績値との大きな差異はございませんでした。

以上